

雨か風か石川島の労資争議

労働者時代の権利を忘れ三千の労働者を餓死の淵に突落す資本家

驅逐艦「蓬」建造上の不正事件を喧傳せられ世人の注目を惹きつゝ、ある石川島造船所のその飽くなき掠奪本能は遂に同工場員三千名に依つて組織され居る造船船工労働組合の上に加へらるゝに至つた昨年の大争議に際して記録を破れる多数の官憲擁護の下に横暴と壓迫に依つて不自然に争議を終局せしめたる造船所側が今次の争議に際して果して如何なる資本家的辣腕を振ふかまた昨年の争議に依つて苦き経験を有する組合側が如何なる戦術を以て此の頑迷なる資本家と對峙するかは蓋し注目し値するものがある尙ほ此の争議の動機は十七日の平民新聞に掲げられた左の内田支配人の暴言に依つて明瞭だ

「頭目は自分の使つて居る職生の救済と権を握つて居るのだから氣に喰はぬ者はどうも放逐するのは當然のことだ会社は營業だから人情も道徳もない戦時状態だからそんなことを考へる暇がない

労働組合同盟會は代議員會を開き石川島の争議に全力を傾注して應援する事に決定した

怠業に陥つた石川島造船所争議


全然中傷だと空嘯く會社側
正義の爲にと教團く職工側

結局ウヤムヤか

石川島造船所の争議は、昨年十一月の争議に依つて、職工側が勝利を収めたが、今次の争議は、職工側の要求が、会社側から見れば、過激なものである。職工側は、今次の争議に際して、記録を破れる多数の官憲擁護の下に、横暴と壓迫に依つて、不自然に争議を終局せしめたる造船所側が、今次の争議に際して、如何なる資本家的辣腕を振ふか、また昨年の争議に依つて、苦き経験を有する組合側が、如何なる戦術を以て、此の頑迷なる資本家と對峙するかは、蓋し注目し値するものがある。尙ほ此の争議の動機は、十七日の平民新聞に掲げられた左の内田支配人の暴言に依つて、明瞭だ。

「頭目は自分の使つて居る職生の救済と権を握つて居るのだから氣に喰はぬ者はどうも放逐するのは當然のことだ会社は營業だから人情も道徳もない戦時状態だからそんなことを考へる暇がない

労働組合同盟會は代議員會を開き石川島の争議に全力を傾注して應援する事に決定した



怠業の臍を堅む

石川島造船職工側の聲明

職工の働から働がなくなつて、職工側から職工側を苦しめて居る。職工側は、今次の争議に際して、記録を破れる多数の官憲擁護の下に、横暴と壓迫に依つて、不自然に争議を終局せしめたる造船所側が、今次の争議に際して、如何なる資本家的辣腕を振ふか、また昨年の争議に依つて、苦き経験を有する組合側が、如何なる戦術を以て、此の頑迷なる資本家と對峙するかは、蓋し注目し値するものがある。尙ほ此の争議の動機は、十七日の平民新聞に掲げられた左の内田支配人の暴言に依つて、明瞭だ。

「頭目は自分の使つて居る職生の救済と権を握つて居るのだから氣に喰はぬ者はどうも放逐するのは當然のことだ会社は營業だから人情も道徳もない戦時状態だからそんなことを考へる暇がない

労働組合同盟會は代議員會を開き石川島の争議に全力を傾注して應援する事に決定した

交渉は、今次の争議に際して、記録を破れる多数の官憲擁護の下に、横暴と壓迫に依つて、不自然に争議を終局せしめたる造船所側が、今次の争議に際して、如何なる資本家的辣腕を振ふか、また昨年の争議に依つて、苦き経験を有する組合側が、如何なる戦術を以て、此の頑迷なる資本家と對峙するかは、蓋し注目し値するものがある。尙ほ此の争議の動機は、十七日の平民新聞に掲げられた左の内田支配人の暴言に依つて、明瞭だ。

「頭目は自分の使つて居る職生の救済と権を握つて居るのだから氣に喰はぬ者はどうも放逐するのは當然のことだ会社は營業だから人情も道徳もない戦時状態だからそんなことを考へる暇がない

労働組合同盟會は代議員會を開き石川島の争議に全力を傾注して應援する事に決定した

行方不明と致して、職工側は、今次の争議に際して、記録を破れる多数の官憲擁護の下に、横暴と壓迫に依つて、不自然に争議を終局せしめたる造船所側が、今次の争議に際して、如何なる資本家的辣腕を振ふか、また昨年の争議に依つて、苦き経験を有する組合側が、如何なる戦術を以て、此の頑迷なる資本家と對峙するかは、蓋し注目し値するものがある。尙ほ此の争議の動機は、十七日の平民新聞に掲げられた左の内田支配人の暴言に依つて、明瞭だ。

「頭目は自分の使つて居る職生の救済と権を握つて居るのだから氣に喰はぬ者はどうも放逐するのは當然のことだ会社は營業だから人情も道徳もない戦時状態だからそんなことを考へる暇がない

労働組合同盟會は代議員會を開き石川島の争議に全力を傾注して應援する事に決定した